

平成28年3月期 決算補足説明資料

2016年5月

(証券コード: 4553)

まとめ

- ・ 売上高は、前期比14.9%増。計画通りの結果となった。
- ・ 売上原価率は、前期比0.8pt悪化。主に2015年3月に稼働した大地化成兵庫工場の減価償却費が要因。
- ・ 販売管理費は、前期比18.7%増。開発品目増加に伴う研究開発費の増加や開発中止にともなう研究開発費の前倒しが発生したことにより、研究開発費が前期比45.2%増となっている。人件費の増加に関しては営業の要員増に伴う影響が大きい。
- ・ 営業利益は、前期比0.3%の微増。通期計画に対しては3億6千5百万円の未達となっている。主に研究開発費・人件費の計画を上回る費消が要因。
- ・ 経常利益は、前期比34.2%減益。原料代金の為替をヘッジする目的で実施しているデリバティブ取引の評価において、前期は急激な円安により、29億9千9百万円の評価益が発生したものの、今期は前期末と比べ大幅に円高となったため、22億8千万円の評価損が発生したことが主な要因。
- ・ 初収載薬価引き下げに伴う長期的な収益性の悪化により、開発品目の中止を行い、既に購入している原薬を「開発中止に伴う損失」として営業外費用に3億8千1百万円計上している。
- ・ 特別損失の2億5千4百万円は主に第2四半期で発生した旧山形第一工場の解体処理費用等1億9千5百万円が要因。
- ・ 2015年7月に当社初の転換社債型新株予約権付社債(150億円 2022年満期)を発行し、設備投資資金等を確保。

2016年3月期決算概要

(単位:百万円, %)

期 項目	16/3			15/3	
	金額	対売上高 比率	前期比	金額	対売上高 比率
売上高	82,115	100.0	+ 14.9	71,470	100.0
売上原価	40,261	49.0	+ 16.7	34,487	48.3
販管費	30,719	37.4	+ 18.7	25,877	36.2
営業利益	11,134	13.6	+ 0.3	11,105	15.5
経常利益	10,157	12.4	- 34.2	15,437	21.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,684	9.4	- 30.9	11,118	15.6

(為替レート) 2016/3 2015/12 2015/9 2015/3 2014/12 2014/9 2014/3
1ドル 111.68円 119.61円 118.96円 119.17円 119.55円 108.45円 101.92円

2016年3月期決算概要(計画進捗率)

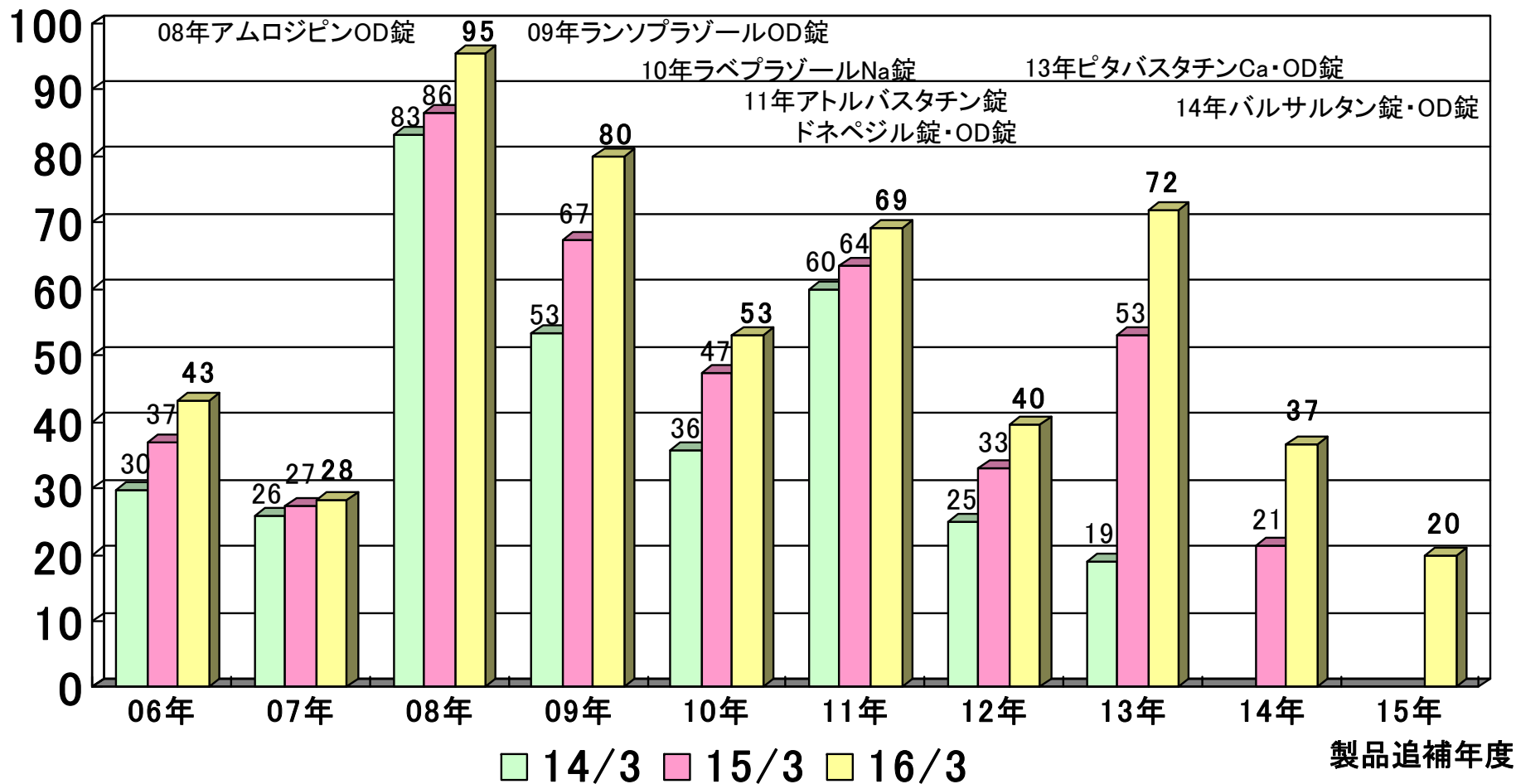
(単位:百万円, %)

期	16/3			16/3計画 (5月14日発表)		
	金額	対売上高 比率	計画比	金額	対売上高 比率	達成率
売上高	82,115	100.0	+ 0.1	82,000	100.0	100.1
売上原価	40,261	49.0	- 0.6	40,500	49.4	99.4
販管費	30,719	37.4	+ 2.4	30,000	36.6	102.4
営業利益	11,134	13.6	- 3.2	11,500	14.0	96.8
経常利益	10,157	12.4	- 11.7	11,500	14.0	88.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,684	9.4	- 6.3	8,200	10.0	93.7

追補年度別売上高推移

08年追補以降の売上が順調に伸長した。

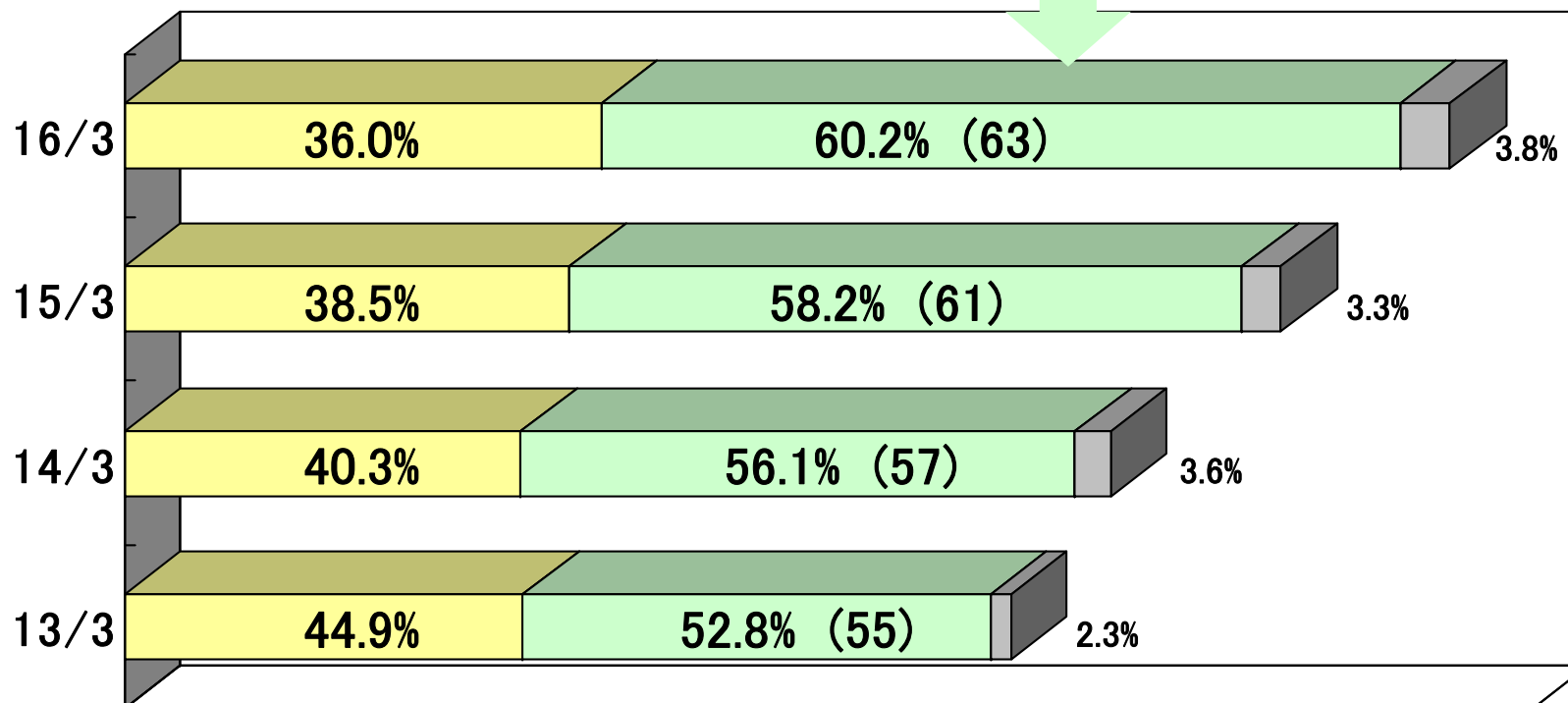
億円



売上高詳細(販路別)

(単体)

代理店の営業所化・営業所の新設、本社取引の拡大などにより、直販比率が増加。()は営業所数

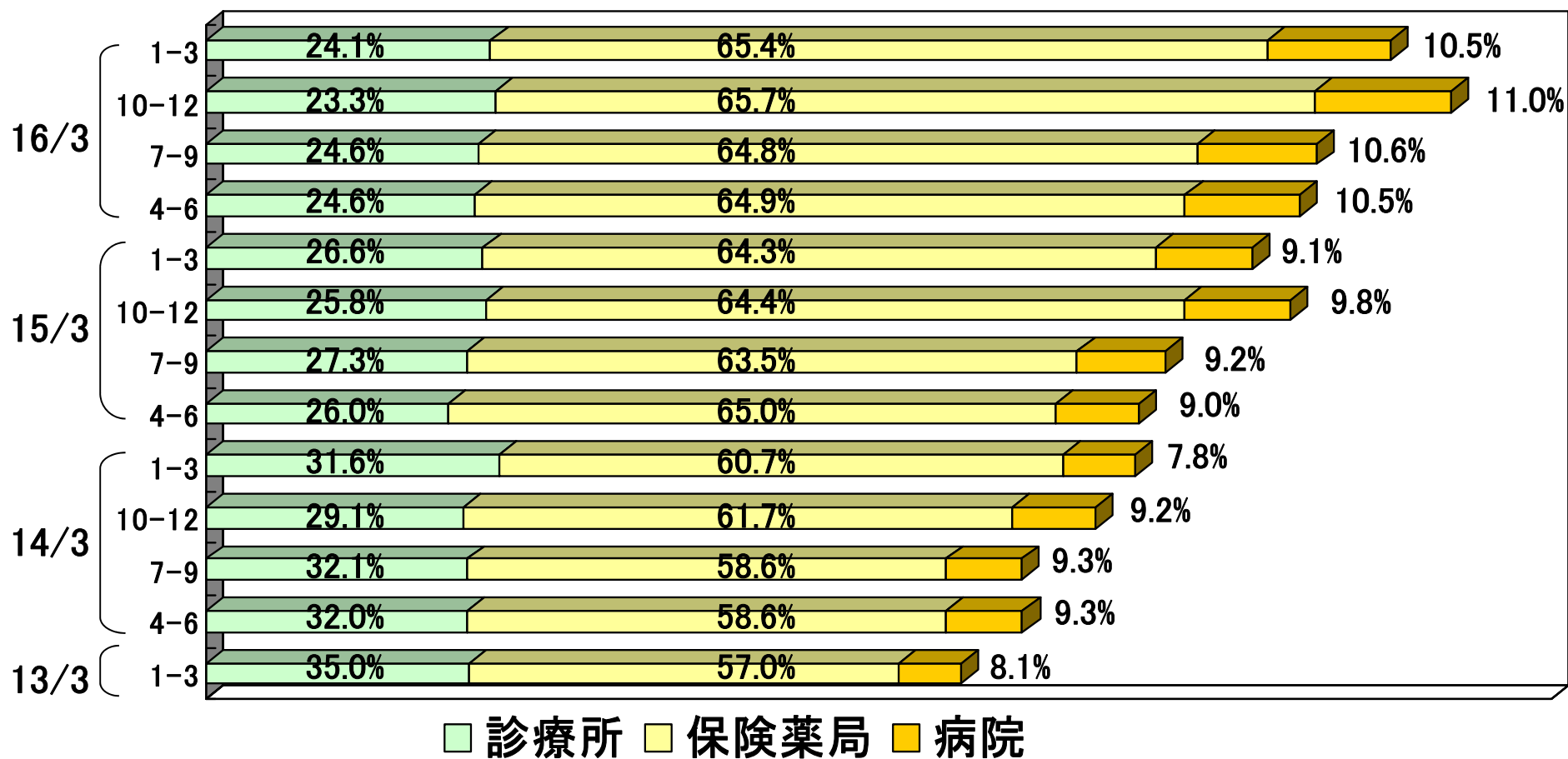


■ 代理店 ■ 営業所・本社 ■ その他(他社販売・受託・輸出)

売上高詳細(納入先別)

(単体)

売上が順調に伸びる中、保険薬局と病院の売上比率も順調に推移。



(他社販売等を除く。診療所+保険薬局+病院を100%としている。)

販売費及び一般管理費

(単位:百万円, %)

期	16/3			15/3	
	金額	対売上高 比率	前期比	金額	対売上高 比率
人件費	12,122	14.8	+ 14.8	10,563	14.8
研究開発費	8,924	10.9	+ 45.2	6,144	8.6
荷造費	1,595	1.9	+ 21.8	1,309	1.8
広告宣伝費	1,507	1.8	- 5.7	1,598	2.2
減価償却費	967	1.2	+ 14.0	849	1.2
支払手数料	992	1.2	+ 10.4	898	1.3
その他	4,609	5.6	+ 2.1	4,514	6.3
販管費	30,719	37.4	+ 18.7	25,877	36.2

販売管理費は、前期比18.7%増。開発品目増加に伴う研究開発費の増加や開発中止品目の研究開発費が前倒しで発生したことにより、研究開発費が前期比45.2%増となっている。人件費の増加に関しては営業の要員増に伴う影響が大きい。なお、減価償却費は研究開発部分を除く。

貸借対照表

(百万円)

項目	16/3	15/3	増減
現金及び預金	20,526	3,009	+ 17,516
受取手形 及び売掛金	25,802	22,669	+ 3,133
有価証券	5,000	3,198	+ 1,801
商品及び製品	21,039	16,677	+ 4,361
その他流動資産	22,763	21,086	+ 1,677
流動資産計	95,132	66,642	+ 28,489
建物及び構築物	24,170	24,750	-579
機械装置及び運搬具	14,618	12,433	+ 2,184
建設仮勘定	8,146	2,883	+ 5,263
その他固定資産	14,783	14,476	+ 306
固定資産計	61,719	54,544	+ 7,174
資産合計	156,851	121,187	+ 35,664

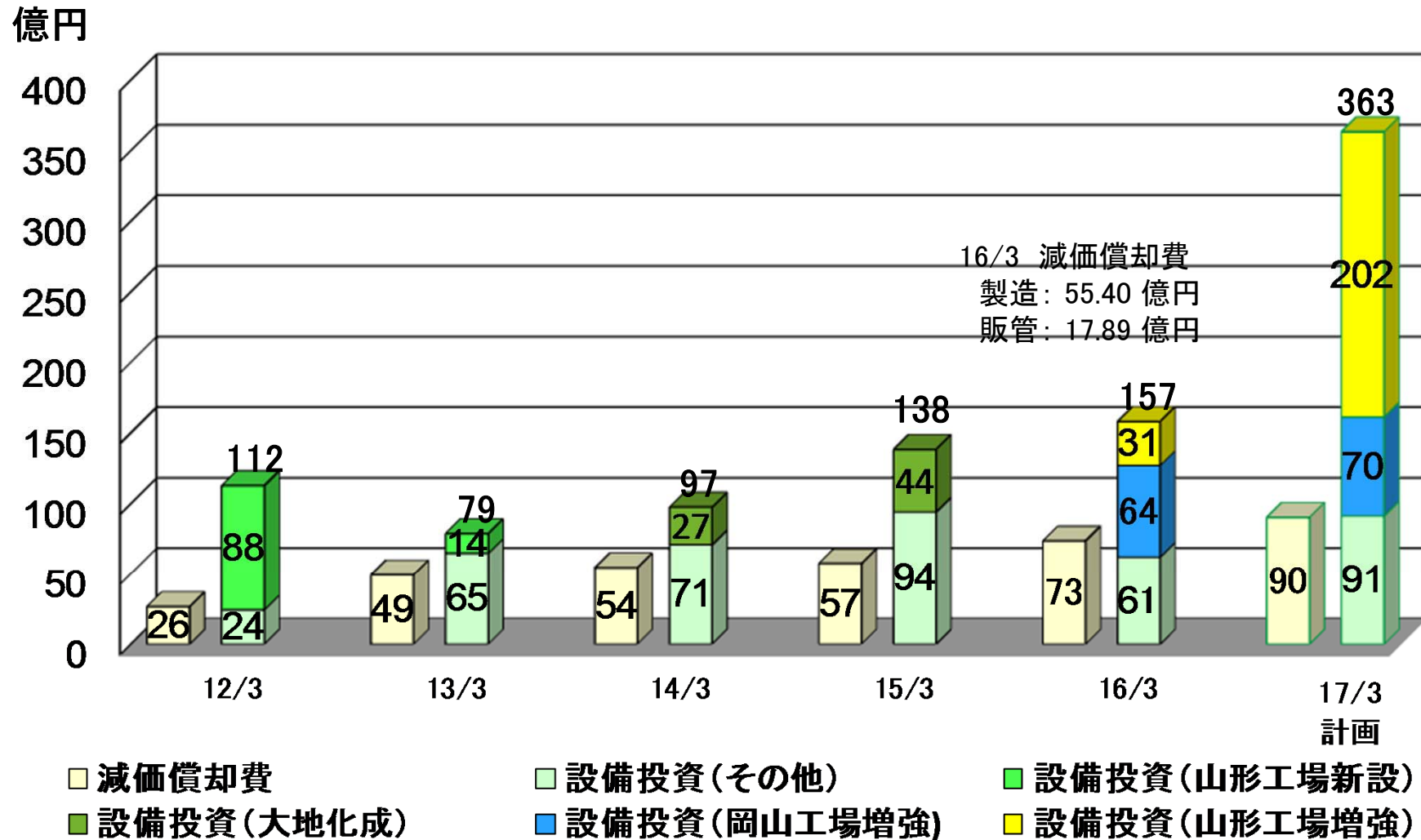
項目	16/3	15/3	増減
支払手形 及び買掛金	14,136	12,577	+ 1,558
1年内返済予定の 長期借入金	2,033	2,505	-471
未払法人税等	258	3,366	- 3,107
その他流動負債	14,833	12,605	+ 2,228
流動負債計	31,262	31,054	+ 208
長期借入金	38,435	18,468	+ 19,966
新株予約権付社債	15,067	-	+ 15,067
その他固定負債	1,481	1,616	-134
固定負債計	54,984	20,085	+ 34,899
負債合計	86,246	51,139	+ 35,107
純資産合計	70,605	70,048	+ 556
負債・純資産合計	156,851	121,187	+ 35,664

主な設備投資及び減価償却費の修正計画

期	16/3 計画	16/3 実績	17/3 計画		18/3 計画		3期合計
項目	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	前期比 (%)	金額 (百万円)	前期比 (%)	金額 (百万円)
設備投資	18,100	15,792	20,700	+ 31.1	39,000	+ 88.4	75,492
設備投資(修正)			36,300	+ 129.9	27,300	- 24.8	79,392
岡山工場	5,700	6,499	5,700	- 12.3	1,400	- 75.4	13,599
岡山工場(修正)			7,000	+ 7.7	1,000	-85.7	14,499
山形工場	3,700	3,106	5,000	+ 61.0	36,500	+ 630.0	44,606
山形工場(修正)			20,200	+ 550.4	23,600	+ 16.8	46,906
大阪工場	1,100	728	900	+ 23.6	1,100	+ 22.2	2,728
東日本物流 センター	1,600	744	3,200	+ 330.1	0	-	3,944
東日本物流 センター(修正)			2,400	+ 222.6	0	-	3,144
その他	6,000	4,715	5,600	+ 18.8	1,400	- 75.0	11,715
減価償却費	6,960	7,329	7,150	- 2.4	8,900	+ 24.5	23,379
減価償却費(修正)			9,080	+ 23.9	11,410	+ 25.7	27,819

- ✓ 2016年3月期第2四半期に発表した設備投資計画の更新及び変更。
- ✓ 設備投資計画増加は主に山形工場の費用前倒しが要因。

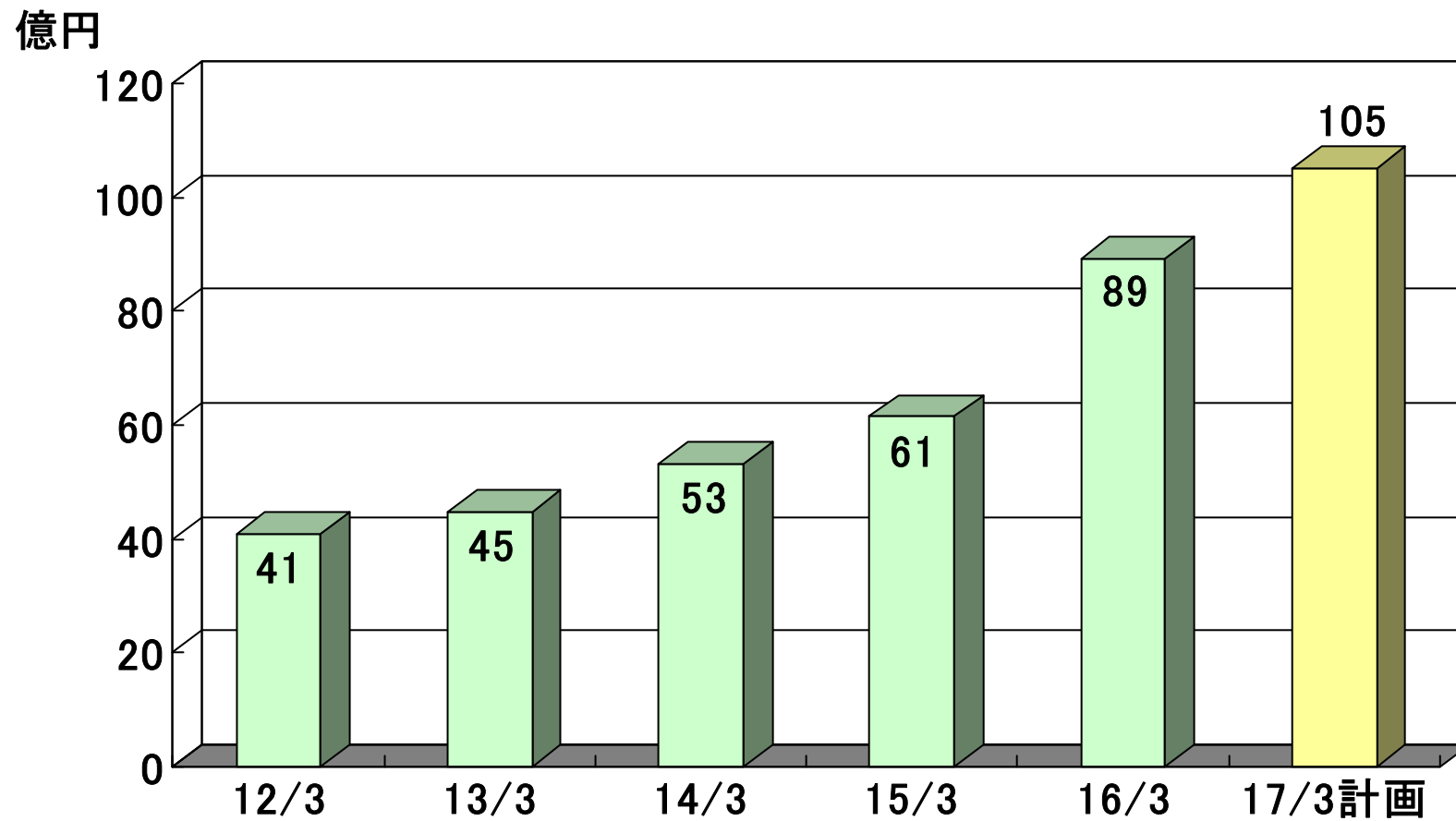
設備投資・減価償却費



2017年3月期設備投資計画

項目	設備投資額 (億円)	主な内容
山形工場	202	増改築、製造設備
岡山工場	70	増改築、製造設備
大阪工場	9	製造設備更新
物流	24	東日本物流センター移転
営業	17	営業所増設
研究開発	12	分析機器、製造設備
ジェイドルフ製薬	13	土山工場増築
その他	10	システム
合計	363	

研究開発費



2016年6月追補収載予定新製品

薬効分類名	販売名	先発医薬品名 (会社名)	2015年度 売上(億円)
抗精神病薬	オランザピン錠 2.5mg/5mg/10mg「トーワ」	ジプレキサ錠 2.5mg/5mg /10mg(日本イーライリリー)	382
	オランザピンOD錠 2.5mg/5mg/10mg「トーワ」	ジプレキサザイデイス錠 2.5mg/5mg /10mg(日本イーライリリー)	205
	オランザピン細粒1%「トーワ」	ジプレキサ細粒1% (日本イーライリリー)	22
深在性真菌症治療剤	ポリコナゾール錠 50mg/200mg「トーワ」	ブイフェンド錠50mg/200mg (ファイザー)	115
末梢COMT阻害剤	エンタカポン錠100mg「トーワ」	コムタン錠100mg (ノバルティス)	72
選択的セロトニン再取り込み阻害剤	セルトラリンOD錠 25mg/50mg「トーワ」	ジェイゾロフトOD錠25mg/50mg (ファイザー)	13

6月追補品合計で初年度売上約5億円

オランザピン 約3億円
 ポリコナゾール 約0.7億円
 エンタカポン 約0.6億円

を計画しております。

など、7成分 15品目を上市予定

2017年3月期 計画

(単位:百万円, %)

期	17/3 計画 (5月13日発表)			16/3	
	金額	対売上高 比率	前期比	金額	対売上高 比率
売上高	93,500	100.0	+ 13.9	82,115	100.0
売上原価	48,200	51.6	+ 19.7	40,261	49.0
販管費	34,800	37.2	+ 13.3	30,719	37.4
営業利益	10,500	11.2	- 5.7	11,134	13.6
経常利益	10,350	11.1	+ 1.9	10,157	12.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,450	8.0	- 3.1	7,684	9.4

2017年3月期 計画(対 中期経営計画比)

(単位:百万円, %)

期	17/3 計画 (5月13日発表)			17/3 中期経営計画	
	金額	対売上高 比率	中期経営 計画比	金額	対売上高 比率
売上高	93,500	100.0	+ 1.1	92,500	100.0
売上原価	48,200	51.6	+ 2.6	47,000	50.8
販管費	34,800	37.2	- 2.0	35,500	38.4
営業利益	10,500	11.2	+ 5.0	10,000	10.8
経常利益	10,350	11.1	+ 3.5	10,000	10.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,450	8.0	+ 6.4	7,000	7.6

- ・売上高については、DPC病院及び保険薬局を中心に売上高を伸ばす。
- ・コスト面では、大地化成の減価償却費が減るものの、岡山工場・山形工場の減価償却費が発生することを主要因として減価償却費は増加する見込み。販管費では開発品目の増加により研究開発費が105億円、人件費は138億円の計画となっている。

<お問い合わせ先>

東和薬品株式会社 社長室

ir@towayakuhin.co.jp

TEL : 06-6900-9101

FAX : 06-6900-0634

将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。